

TOPPANグループ、
労働安全衛生の国際規格「ISO 45001」認証を国内 44 工場へ大幅拡大
従業員の安全と働きがいのある職場づくりを加速

TOPPAN ホールディングス株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 CEO:磨 秀晴、以下 TOPPAN ホールディングス)は、2026年3月にグループ7製造会社・44工場で労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格である ISO45001(※)の認証を取得しました。TOPPAN グループにおいては、昨年3月に4製造会社・4工場で認証を取得していましたが、今回の認証取得でその範囲を拡大しました。

TOPPAN グループは、従業員が心身ともに健康で、安心して能力を發揮できる職場環境の整備を経営の重点目標の一つとして掲げています。近年、作業の多様化や機械化の進展などから従業員の労働に関するリスクが高まっており、グローバルなサプライチェーンにおける社会的責任を果たすべく、国際標準に基づいた客観的な評価・改善プロセスを導入し、ISO45001 の認証取得を進めてきました。今回、先行して ISO45001 の認証を取得した4工場の運用ノウハウを水平展開したことが、認証範囲の拡大に繋がりました。



■ TOPPANグループの認証取得工場(3月30日時点)

認証取得製造会社	認証取得工場(所在地)
TOPPAN コミュニケーションプロダクツ	川口工場(埼玉県川口市) 他 19 工場
TOPPAN パッケージプロダクツ	群馬センター工場(群馬県邑楽郡) 他 10 工場
TOPPAN エレクトロニクスプロダクツ	三重工場(三重県亀山市) 他 2 工場
TOPPAN 建装プロダクツ	柏工場(千葉県柏市) 他 1 工場
TOPPAN プラスチック	佐賀工場(佐賀県神埼郡) 他 3 工場
TOPPAN パッケージングサービス	袖ヶ浦ビバレッジ工場(千葉県袖ヶ浦市)
TOPPAN インフォメディア	福島工場(福島県福島市) 他 2 工場

■ 今後の展開

TOPPAN ホールディングスは今後、すべての国内拠点および海外拠点での認証取得を視野に入れ、これまでに認証を取得済みの国内工場をモデルケースとして取組みを横展開し、グループ全体で安全文化の醸成を推進します。「人財」を最大の資産と捉え、すべての従業員が生き生きと働けるウェルビーイングな環境づくりを通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※ 国際標準化機構(ISO)が2018年に策定した労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格です。ISO45001は、経営層による安全衛生方針の表明、危険性または有害性などの調査およびその結果に基づき講ずる措置、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成・実施・評価および改善など、「計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Act)」といったPDCAサイクルを回して継続的な改善を実施し、働く人の労働に関連する負傷と疾病の予防および安全で健康的な職場の提供を達成するための仕組みとその運用を要求しています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上